

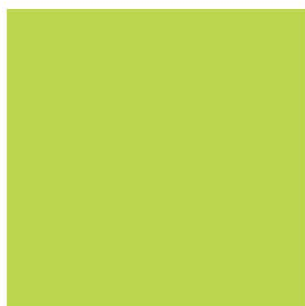
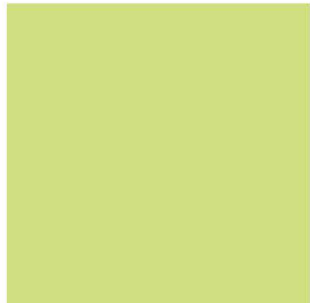
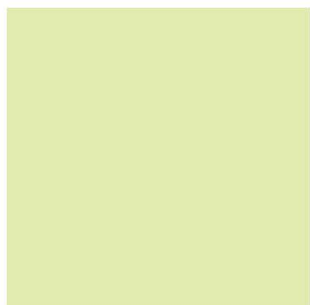


広島大学

<https://www.flare.hiroshima-u.ac.jp/>

外国語教育研究センター

Institute for Foreign Language Research and Education



外国語教育研究センターについて

広島大学外国語教育研究センター センター長
小澤 孝一郎



OZAWA, Koichiro
Director, Institute for
Foreign Language Research and Education,
Hiroshima University

広島大学の外国語教育は、海外でも活躍できる高度な専門職業人や、国際的に通用する研究者にふさわしい運用能力の養成を目指しています。そして、広島大学外国語教育研究センターの最大の目的は、質の高い授業を提供し、広島大学で学ぶすべての学生と教職員の外国語学習をサポートすることです。

質の高い外国語教育の実践のためには、研究機関としても高いレベルを維持することが必要です。そのため、私たちは、外国語教育に関する様々なテーマを研究し、学会や教員研修会などを通して情報発信するとともに、現職の英語教員の再研修などの地域貢献・社会貢献にも精力的に取り組んでいます。

学生の皆さん、外国語学習には時間と労力が必要ですが、外国語は皆さんに新しい世界を見せてくれます。そして皆さんの人生を確実に豊かにしてくれます。皆さんが複数の外国語を学び、様々な分野で活躍できるよう、私たちは全力でサポートしたいと思います。どうぞ外国語教育研究センターを役立ててください。

Foreign language education at Hiroshima University is focused on developing the operational skills needed by highly qualified professionals and researchers in the global arena. The primary aim of the Institute for Foreign Language Research and Education (FLaRE) is twofold: to provide high-quality instruction, and to support the foreign language learning of all students and staff at Hiroshima University.

To ensure the highest standard of foreign language education, it is essential to maintain a high level of excellence as a research institute. To this end, we research a broad range of topics in the field, disseminating information and sharing our insights through academic conferences and faculty development seminars. Additionally, we support our local community and wider society by offering refresher courses for current English teachers.

My message to all students is this: Learning a foreign language takes time and effort, but it will enrich your life immeasurably by opening your eyes to a whole new world. At FLaRE, we are committed to helping you excel in foreign languages and play an active role in a variety of fields. Please take full advantage of the Institute for Foreign Language Research and Education.

業務内容

広島大学における外国語教育の実践 Foreign Language Education at Hiroshima University

外国語教育研究・調査 Research and Development in the Field of Foreign Language Education

外国語教育研究センターは、全学的な視野から学部・大学院および教職員という大学全体における外国語教育を効果的に実施するために、平成9年4月に設立されたセンターです。高度な専門職業人として、または国際的な研究者として必要な外国語能力を育成するために、外国語教育カリキュラムの企画・立案と実施の管理を行っています。授業を効果的に行うためにCALL設備を導入し、授業実践や管理運営を通じて効率的な外国語教育環境を実現しています。また、外国語の自習環境を提供するためにe-learning教材の作成や導入を行って配信し、外国語学習のマルチメディア環境についても整備しています。

The Institute for Foreign Language Research and Education was founded in April 2004. Its aim is the provision of effective foreign language education across the university, including undergraduate students, graduate students, administrative staff and teachers. We are involved in curriculum design, innovation, and management in foreign language education with a view to nurturing learners' foreign language abilities so that they can operate as advanced international researchers and staff. In order to provide learners with effective language instruction, CALL facilities have been fully equipped, and a professional atmosphere has been created for students through good classroom practice, management and administration. In addition, a well-organized system for self-study has been established with the development and distribution of e-learning materials.

グローバルに活躍する人材を育てる

特定プログラム（英語・トライリンガル）

英語プロフェッショナル養成特定プログラム

国際的な研究者や高度専門職業人を目指し、各自の学問分野に応じて、その専門的な内容を英語で理解・発表するための高度な英語運用能力を養成するプログラムです。目標とする英語運用能力の水準は、聞くことと読むことにおいてはTOEIC® L&Rにおける730点以上のレベルとします。話すことと書くことについては、小グループでのディスカッションやプレゼンテーションの原稿作成と発表ができること、また目的や場面に応じた表現の選択ができ、誤りが少なく情報性に優れた構成の文章を作ることができるレベルを目指します。

トライリンガル養成特定プログラム

＜中国語・韓国語・ドイツ語・フランス語・スペイン語＞

母語および英語に加えて3つ目の言語を自由に操れる「トライリンガル (trilingual)」を養成するためのプログラムです。1年次に学習した初修外国語（中国語・韓国語・ドイツ語・フランス語・スペイン語）でのコミュニケーション技能を伸ばすとともに、国際的に活躍するために必要な言語運用能力と多言語・多文化に開かれたマインドを養成します。プログラム修了時に、当該言語での技能検定試験においてCEFR（欧州評議会が定める言語共通参照枠）B1レベルに相当する級に合格することを目指します。また、それぞれの言語で自分の専門領域について簡単なプレゼンテーションができること、日本と当該言語の社会・文化比較ができること、そして時事問題についてそれぞれの言語で論理的に意見表明・議論ができることも目標としています。

課外講座

外国語研修プログラム

学部・研究科を問わず参加が可能です。研修プログラムに関する情報は、募集案内を含めて外国語教育研究センターのウェブサイトに随時掲載されます。

教材開発

ドイツ語 オンラインドリル DGSG

本センターで開発した初級から中級向けのドイツ語文法問題約5,600題の問題データベースからなる文法学習システムです。



HiroTan (ひろたん)

日常的なコミュニケーションの場面や、アカデミックな場面で使われる重要な語彙6,000語を学習することができる冊子体とオンライン教材を提供しています。（現在は、大学在籍者のみが利用可能）



イメージキャラクター
「ひろたん」



教科書

本センターの教員が執筆した教科書が、数多くの大学で採用されています。



研究活動

外国語教育研究集会

<https://www.flare.hiroshima-u.ac.jp/research/symposium/>

外国語教育の第一線で活躍しておられる著名な講師を国内外より招き、大学における外国語教育のあり方についてさまざまな角度から考察し、意見交換を行う集会です。センターにおける研究活動の一環として、1997年よりほぼ年1回開催しています。最先端の研究や取り組みに触れられることから、学内のみならず、学外からも多くの参加者を集めています。

教育実践研究報告会

<https://www.flare.hiroshima-u.ac.jp/research/symposium/>

外国語教育研究センターによる日頃の取り組みを紹介する目的で、毎年、研究集会の日に同時開催しています。学内外から広島大学の外国語教育に関心をお持ちの参加者が集まり、教育実践のさらなる充実に向けた活発な意見交換の場となっています。

紀要『広島外国語教育研究』

<https://www.flare.hiroshima-u.ac.jp/research/journal/>

先進的な教育実践のための各種プロジェクトや研究、授業内容の改善を目指した全学的な調査・分析などを実施し、その成果を紀要『広島外国語教育研究』にて発表しています。

その他の学習支援

教育・学習に関する窓口相談

教養教育の英語授業で扱われる内容について「わからなくて困っている」という場合や、英語の学習方法を知りたいという場合などに利用できる相談窓口です。実際に教育経験があり、英語教育を専門とする外国語教育研究センターのスタッフや大学院生スタッフが個別に相談にあたります。週1回、学生プラザ1階で受け付けています。



学外活動のサポート

広島大学以外の大学や関係機関が主催するイベントなどの情報提供や、

参加者へのサポートを行っています。

サポート例：

- インターユニ西日本
- 学外のスピーチコンテスト

語学自習室

西図書館3階語学自習室には、英語および初修外国語の自習用教材を各種揃えています。



オンライン英語学習 NEXT

レベルや目的別のコースを揃え、インターネットを利用して学習できます。

- 総合英語トレーニングコース（中級、上級）
- TOEIC(R) L&R テスト突破コース（500点突破コース、600点突破コース、730点突破コース）
- 英単語パワーアップコース TOEIC(R) テスト編
- 英単語パワーアップコース TOEFL(R) テスト編



オンライン多読ライブラリー（英語）

英国マクミラン社による「Macmillan Readers」シリーズと米国センゲージラーニング社による「Page Turners」シリーズの多読教材の電子書籍版を提供しています。



外国語教育研究センター
Institute for Foreign Language
Research and Education



東広島市鏡山1-7-1
1-7-1, Kagamiyama Higashi-Hiroshima,
739-8521, JAPAN
TEL: 082-424-6424
<https://www.flare.hiroshima-u.ac.jp>
@HirodaiFlare

